



Date of Mailing: June 22, 2004

DECISION OF REJECTION

Application No: 2000-373249

Date of Notice: June 15, 2004

GROUND OF DECISION

This application shall be rejected based on the same ground as pointed out in the notice of rejection dated November 27, 2003.

Note

The applicant states in the previous Remarks that all five cited documents fail to disclose that control information in an electronic control unit is prevented from being rewritten even if a rewriting device it self or information in the rewriting device is stolen.

The documents cited in the previous notice, however, are considered to disclose the following points:

determining authority of rewriting information (refer to JP-PCT-11-502332 which corresponds to US 5,815,071; JP-A-11-175331, column [0030], Figs. 6 and 7, steps 401-404, etc.; JP-3-238541, page 2, left bottom column, lines 13-17).

It is a matter of design choice to take up stealing of a rewriting device or rewriting information, etc. as items for checking the authority of the rewriting device.

拒絶査定

特許出願の番号	特願2000-373249
起案日	平成16年 6月15日
特許庁審査官	大山 健 9533 3D00
発明の名称	電子制御装置の制御情報書換システム、当該システムに用いられるセンタ、電子制御装置、及び書換装置
特許出願人	株式会社デンソー
代理人	足立 勉



この出願については、平成15年11月27日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

請求項1～73について

出願人は、意見書において、「このように、引用文献1～5には、本願発明が課題とする「書換装置又は書換装置内部の情報が盗まれたとしても、電子制御装置の制御情報が不正に書き換えられることを防止する」という点について何ら開示も示唆もありません。また、この課題を解決した結果得られる「書換装置又は書換装置内部の情報が盗まれたとしても、電子制御装置の制御情報が不正に書き換えられることを防止できる」という本願に特有の効果についても、何ら開示や示唆はありません。」と記載している。

しかし、先の拒絶理由通知において通知した引用例においても、書換情報の正当性を判断する技術（特に、第1引用例の第15頁第14行～第16行等、第2引用例の【0018】欄等、第4引用例の【0030】欄等、第5引用例の第2頁左下欄第13行～第17行等を参照）が開示されていると認められ、該書換情報の正当性を判断することが必要となる原因として、書換装置の盗難や、書換情報の盗難等の、どのような原因を想定することも、当業者にとって適宜選択する設計的事項に過ぎない。

また、本願発明は、引用例の効果に対して、格別顕著な作用効果を奏するとも認められない。

なお、請求項74～77については、今回の補正により追加された請求項であるから拒絶査定していないが、引用例に対して、進歩性を有しているとは思われない。

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成16年 6月16日 経済産業事務官 高渕 清士